

日本遺産認定を機会に中瀬鉱山自然金を兵庫県養父市に寄贈いたしました

2017年4月28日兵庫県養父市など6市町で申請していました「播但貫く、銀の馬車道鉱石の道」が文化庁から日本遺産に認定されました。（日本遺産の概要につきましては以下のアドレスをご参照ください。）

<https://japan-heritage.bunka.go.jp/ja/stories/story045/index.html>

中瀬鉱山は当社日本精鉱株式会社発祥の地で鉱石の道に所属する遺跡と景観を持っています。（中瀬鉱山の概要につきましては以下の当社ホームページをご参照ください。）

<http://www.nihonseiko.co.jp/company/nakase.html>

この日本遺産認定を記念しまして養父市より当社に記念プレートが贈られました。



日本遺産認定に中瀬鉱山を加えていただくにあたっては地元中瀬区の中瀬鉱山をテーマにした長年の地域活性化の活動が評価されています。中瀬鉱山の跡地はほとんど製錬所に姿を変え稼働していることから、遺構を見学いただくことはできません。そのような状況下、中瀬鉱山の地元として、2002年2月に有志によりスタートした活動は下記のような中瀬鉱山PRの実績を重ねています。

- 2005年9月 中瀬金山400年フェスタ開催
- 2013年9月 中瀬金山会設立
- 2014年9月 交流拠点となる中瀬金山関所開所
- 2014年10月 中瀬金山450年フェスタ開催
- 2015年9月 中瀬金山関所一周年記念中瀬金山まつり開催
- 2016年9月 第二回中瀬金山まつり開催
- 2017年9月 第三回中瀬金山まつり開催

中瀬金山関所には下記写真の関所館内に往時の写真、鉱石サンプル、採掘道具の他館外に鉱石運搬のトロッキも展示されています。

<中瀬金山関所>

江戸時代から現代まで活躍した中瀬鉱山の魅力を紹介する案内所です。



<中瀬鉱山の鉱山車両>

昭和44年まで使われていた鉱山車両が展示されています。



養父市から日本遺産認定を契機に中瀬鉱山をさらに内外にPRするため、当社が保有する自然金を展示し、広く伝えたいとの意向が伝えられ、当社も長年の中瀬金山会の活動に謝意を表し、地域の振興、活性化に役立つのであればと、2017年12月15日養父市役所において、当社代表取締役社長渡邊理史より養父市長広瀬栄氏に自然金を寄贈いたしました。今後市内各地で展示され、中瀬鉱山PRに一役買う予定です。



以上